

■ 特別検討部会（IoT 関連）が担当する課題リスト：

➤ 「2. 別表第十二関係」／2c. [表 3]の見直し（遠隔）

① J1000(H14) 遠隔操作機構を有するものに対する要求事項 — 改訂作業

- 令和6年度産業保安等技術基準策定研究開発等事業（電気用品安全法の規制対象品目及び技術基準解釈の見直し等に係る調査）にて方針が示されている。

（電気用品安全法の技術基準解釈見直しアクションシートより抜粋）

4 課題1（整合規格の整備）に対するアクション

(7) アクション7

J1000（遠隔操作機構を有するものに対する要求事項）の見直しについては、令和3年に策定されたIoTガイドラインとの整合を図る観点からのJ1000を解釈別表第4（JIS C 8300）及び解釈別表第8に整合させた見直し案を次の方向性及び具体案に従って、電気用品調査委員会から提案する。

【見直しの方向性】

- 適用範囲は、配線器具及び交流用電気機械器具等とする。ただし、解釈別表第12の表1の電気安全に関する基準で、遠隔操作機構に関する要求事項が規定されている場合は、この基準を適用しないことを明確化する。
- 試験方法及び判定は、配線器具にあっては、JIS C 8300の箇条23、交流用電気機械器具等にあっては、解釈別表第81（2）ロを引用することで、電気用品調査委員会が発行している「遠隔操作に関する報告書等」及び「IoTガイドライン等を解釈別表第八で合理的に活用するための解説」を活用できるようにする。

【J1000の見直し案】 電気用品調査委員会で審議要

1 適用範囲

この規格は、遠隔操作機構を有する、次の電気用品に適用する。

- 電気用品安全法施行令（昭和37年政令324号）別表第1第3号及び別表第2第4号に掲げる配線器具（以下「配線器具」という。）
- 電気用品安全法施行令（昭和37年政令324号）別表第1第6号から第9号まで及び別表第2第7号から第11号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機（以下「交流用電気機械器具等」という。）

ただし、表1の電気安全に関する基準で、遠隔操作機構に関する要求事項が規定されている場合は、この基準を適用しない。

2. 要求事項

遠隔操作機構を有するものにあつては、器体スイッチ又はコントローラーの操作以外によって、電源回路の開閉を行えないものであること。ただし、危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。

試験方法及び判定は、配線器具にあっては、JIS C 8300の箇条23、交流用電気機械器具等にあっては、次による。

（以下、別表第81（2）ロを以下に全文記載する）。

表4-7 アクション7によるJ1000の見直し

誰が	何をする	いつ（予定）
電気用品調査委員会	解釈別表第12の表3のJ1000の見直し案を作成し、国（製品安全課）に提案する。	2025年度内に実施する。
↓		
国 （製品安全課）	電気用品調査委員会から提案があった見直し案を元に、解釈の改正を行う。	2026年度に電気用品調査委員会からの提案を受けて実施する。

➤ 「3. 提案活動」／3b. IoT 関連の検討

- ② 「解釈別表第四に係わる遠隔操作」に関する報告書（2019.11.18） — 改訂作業
 - JIS C 8300 に対応するための見直し、改訂版の作成
- ③ 「解釈別表第八に係わる遠隔操作」に関する報告書（2019.11.18） — 改訂作業
 - 別十二へ的一本化（別八の廃止）を横目に見ながらの修正、改訂版の作成
- ④ AV 機器の遠隔操作機構に関する試験方法（2019. 11.18） — 改訂検討
 - JIS C 62368-1 に対応するための見直し、改訂版の検討
- ⑤ IoT ガイドライン（通称）関係
 - 令和 5 年度「電気用品、ガス用品等製品の IoT 化等による安全確保の在り方に関するガイドライン」（製品安全課）の実効性確保、普及啓発に関するワーキンググループの活動成果について、製品の安全確保に係る「機器の分類」、「リスクアセスメント手法の適用方法」、「ユースケース・リスクシナリオの検討成果」等の検討を、電気用品調査委員会における安全対策のための「提案」活動として取り組む。
 - 2024 年 7 月 22 日発行の「IoT ガイドライン等を解釈別表第八で合理的に活用するための解説（令和 5 年度調査報告書対応）」の改訂作業の検討
- ⑥ 遠隔操作採用時のリスクアセスメント手順書 — 新規作成
 - <⑤との同時進行> ⑤を進める中で、必要性が明確化されるものと推測

=== 次ページへ ===

■ スケジュールの検討：

○当部会／◎親委員会	2025/06 ○	07 ◎	08	09 ○	10	11 ◎	12	2026/01 ○	02	03 ◎
特別検討部会（IoT 関連）	対応方針と スケジュール	活動 報告		状況 確認	→	活動 報告		状況確認	→	活動 報告
① J1000 改訂作業 ・部会にて対応 ・リーダー：部会長	改訂案の 部会内提示	→	→	最終案 承認	→	報告 (完)				
		コメント 募集	最終案 作成		提出版 作成					
② 別四の報告書 改訂作業 ・主担当：関係団体		作業 G 設置？	→	進捗 報告	→	→	→	最終案承認	→	報告 (完)
			G 内 作業		G 内 作業	G 内 作業	最終案 作成		提出版 作成	
③ 別八の報告書 改訂作業 ・部会にて対応 ・リーダー：部会長				①の結果 とリンク				改訂の 方向性を検討 (新 J1000 対応)		
				②の進捗 と照合				(別八廃止の 状況を確認)		
④ AV 機器の試験法 改訂検討 ・主担当：関係団体		検討 G 設置？	→	進捗 報告						
			G 内 作業							
⑤及び⑥は来年度以降（？） ・部会にて検討 ・リーダー：部会長										

以 上